

平成30年度博物館施設評価集計シート(3月末最終)

施設名 自然の博物館

1. 数値目標による評価  
(1) 全館共通項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	利用状況	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	105,090	人	達成	基準値:82,348人 目標参考値:105,086人
				112,235	人		
2	利用状況	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	94,810	人	達成	基準値:70,320人 目標参考値:94,810人
				100,788	人		
3	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	660	件	達成	基準値:450件 目標参考値:652件
				681	件		
4	利用状況	経営努力	観覧料および事業等収入額	9,915,000	円	達成	当該年度予算計上額
				13,967,969	円		

(2) 館別独自項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	資料	収集・整理	新規登録数	960	点	達成	目標数
				1,019	点		
2	資料	展示活用	利用数	1,400	点	達成	目標数
				3,224	点		
3	展示	常設展	満足度	80	%	達成	
				96	%		
4	展示	特別展・企画展	満足度	80	%	達成	
				94	%		
5	学習支援	学校教育への支援	出前授業及び観察指導	80	件	未達	昨年度実績を参考
				44	件		
6	学習支援	社会教育等への支援	外部施設・周辺環境への派遣件数	30	件	達成	昨年度実績を参考
				36	件		
7	情報発信	インターネットの活用	ツイート数	250	回	未達	1日1回(担当者)
				227	回		
8	調査研究	成果発表	研究成果の発表	12	件	達成	学芸系職員一人1件
				26	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <p>2 常設展の充実</p> <p>3 特別展、企画展の実施</p> <p>4 市町村支援(共催展・出張展示の実施)</p> <p>5 関係機関との連携</p>
事業の実施状況と過程	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <p>(1) 保存活用計画策定委員会の開催 7/2 11/8</p> <p>(2) 古秩父湾バスツアーの実施 10/27</p> <p>(3) 古秩父湾スタンプラリー(4/1～30)</p> <p>2 常設展の充実</p> <p>(1) 埼玉の多様な生きものコーナーの新設(1月)</p> <p>(2) 音声ガイド機器の更新・多言語化(2月)</p> <p>(3) 常設展図録の作成・刊行(3月)</p> <p>3 特別展、企画展の実施</p> <p>(1) 企画展「縄文有用植物展～クリ植えマメ播きウルシを掻いた!?～」4/1～6/17</p> <p>(2) 特別展「ハチを知る」6/30～9/2</p> <p>(3) 企画展「水晶～鉱物界へのトビラ」9/22～1/14</p> <p>(4) 特別展「カモ・鴨～見・知・獲・食～」(企画)11/3～1/6</p> <p>(5) 企画展「要注意!野外の危険なもの」(2/2～3/31)</p> <p>4 市町村支援(共催展・出張展示)</p> <p>(1) 所沢市立図書館柳瀬分館「ほんの少し残念な古生物たち」5/12～7/31</p> <p>(2) 羽生市立郷土資料館「アンモナイト展」7/14～8/27</p> <p>(3) 熊谷市立図書館「第10回自然科学展～さいたまの動物たち～」7/21～8/26</p> <p>5 関係機関との連携</p> <p>(1) SLミュージアムトレインの実施(秩父鉄道) 8/24</p> <p>(2) 古秩父湾バスツアーの実施 10/27(再掲)</p> <p>(3) 紅葉ライトアップイベントの実施(長瀬町観光協会)11/3～25</p>
事業の成果	<p>1 国天然記念物「古秩父湾」関連事業 バスツアーやスタンプラリーの実施により古秩父湾の魅力をアピールするとともに、博物館の集客につなげることができた。</p> <p>2 常設展の充実 県内で見られる代表的な昆虫類や植物などの標本を展示することで、埼玉の生きものの全体像を学ぶことができることになった。</p> <p>3 特別展、企画展の実施 埼玉の自然及び自然と人々の関わりに関する特別展、企画展を実施することにより、県民の多様なニーズに応えることができた。</p> <p>4 市町村支援(共催展・出張展示の実施) 市町村支援を通じて当館から遠方の県民に埼玉の自然を紹介することができた。</p> <p>5 関係機関との連携 関係機関と連携して効果的な情報発信や事業展開を図ることができた。</p>

基礎データ

職員数 (学芸員数)	19人 (9人)	総予算額 (人件費を除く)	31,857,000円	職員一人あたりの県民人口	38.4万人
収蔵資料総点数 (H30.3末現在)	163,313点	事業経費 (上記の内数)	22,577,000円	利用者一人あたりのコスト (平成29年度)	402円
平成29年度 収集資料点数	414点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	9,915,000円 (6,406,780円)	県民人口に対する利用者割合 (平成29年度)	1.44%

(注)平成30年度4月1日現在の埼玉県推計人口は7,310,878人である